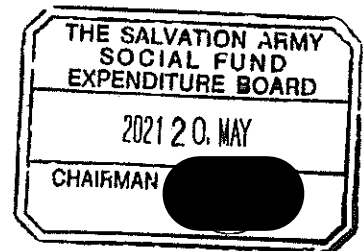


札幌市しせいかん保育園

令和 2 年度 事業報告書

法人名
法人代表者
施設名
施設代表者

社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 ケネス・メイナ
札幌市しせいかん保育園
施設長 安達津恵子



<目次>

1. 救世軍社会福祉事業の理念	-----1
2. しせいかん保育園の理念	-----1
3. 施設概要	-----1
4. 法人理事・監事・評議委員	-----2
5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色	-----3～4
6. 聖書の学び・三園連絡会議	-----5～8
7. 入所児童数	-----9
園児動向	
時間外保育・一時保育利用数	
8. 職員に関する実績	-----10～12
職務分担・職員名簿	
職員の資質向上・職員研修	
法人三園合同行事・福利厚生	
9. 保育課程	-----13～15
保育の内容	
各年齢のまとめ	
10. 年間行事報告	-----16～17
11. 食育実践	-----17
12. 施設設備に関する実績	-----17
施設設備	
13. 保健計画実績	-----18
健康管理・事故及び負傷	
14. 防災計画実績	-----19～20
15. 要望・苦情に対する対応	-----21
16. 保護者に関する実績	-----21～22
父母の会・懇談会・親子観劇	
保育アンケート結果	
17. 施設間と地域との交流実績	-----23

1. 救世軍社会福祉事業の理念

救世軍社会福祉事業は、キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的な存在の価値を尊び、キリストが一人ひとりを愛されたことを模範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする。

2. しせいかん保育園の理念

救世軍の主義および精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が、心も身体も健全に成長するために、地域とともに歩む共同体

3. 施設概要

種別名称	札幌市都心部子ども関連複合施設 札幌市しせいかん保育園
所在地	札幌市中央区南3条西7丁目1-1
電話 FAX	電話 011(204)9560 FAX 011(204)9570
設置主体	札幌市
経営主体	社会福祉法人 救世軍社会事業団
法人代表者	理事長 ケネス・メイナ－
園長	安達 津恵子
建物構造	鉄筋コンクリート造り 5階建 (保育園部分 1階一部 2階一部)
建物面積	保育園部分 1,015.15㎡
事業開始	平成16年4月1日
定員	120名(通常保育80名 夜間保育40名)
保育実施事業	産休明け保育、障がい児保育、延長保育、夜間保育、一時保育
保育年齢	0歳(産休明け)～就学前
保育時間	昼型 標準時間:7～18時 延長:18～19時 短時間 :8時～16時 夜型 標準時間:10～21時 延長:8～10時、21～22時 短時間 :13時～21時
休園日	日曜日、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)

4. 法人理事・監事・評議員

理事・監事

氏名	役職名
ケネスメイナー	理事長
石川一由紀	理事(業務執行理事)
高澤真智子	理事
細貝順子	理事
久富直樹	理事
金光慶典	理事
石出道雄	理事
伊吹正典	理事
繁田勝男	監事
内田肇	監事

評議員

氏名	役職名
西村保	評議員
寺澤勇	評議員
岩橋京子	評議員
富本敏子	評議員
梅田久恵	評議員
河正子	評議員
屋敷幹雄	評議員
伊藤聖使	評議員
秋山智久	評議員
石川和男	評議員
堀千鶴子	評議員
黒澤百合子	評議員
島田裕司	評議員
大倉透	評議員
綱島実	評議員

令和3年4月1日現在

5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色

<保育の方針>

平成16年、札幌市による都心部4小学校の統合に伴い設置された新設校である”資生館小学校”を中心とした複合施設(資生館小学校、子育て支援総合センター、ミニ児童会館、しせいかん保育園)の保育園部分として設立される。

0歳から12歳までの子どもたちが同じ建物に居るという利点を活かし、保護者や保育および教育に関わる大人たちが子育ての見通しを持つことができるような施設である。

保育園としては、各施設との交流を通して相互の理解を深め、子どもたちが多くの大人たちに見守られながら成長していける場となるよう努力していく。

また、一人ひとりの保護者の状況を把握し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮していく。日々の保育の中では、全面に土の入った園庭で水や泥で遊ぶとともに、散歩や戸外での活動を通し、自然とのかかわりを増やしていく中で心と体の成長を促していく。

子どもたちの自我を育て、他者との関係をしっかりとむすんでいけるよう育てていきたい。

<保育目標>

1. 心身ともに元気な子ども

- ・ 規則正しい生活を身につけ、自ら安全を守り危険を予測する能力を身につける。
- ・ くつろいだ雰囲気でもの様々な欲求を満たし、情緒の安定した中で意欲的に遊ぶ。
- ・ 全身を使った遊びや運動を通して体力を養う。

2. 自分の思いを表現し、相手の気持ちを思いやる子ども

- ・ 積極的に遊びや生活をする中で、善悪の判断や人とかかわりあいを学ぶ。

3. 自分のことは自分でする子ども

- ・ 基本的な生活習慣を身につける。

<保育園の特色>

平成16年に札幌都心部にあった小学校統合にともない、資生館小学校を基幹とした子ども関連複合施設の設立がなされ、ここに保育園部門として夜間保育を含む乳幼児120名定員で開園する。

前身は豊水保育所であったが、指定管理者の指定を受け保育業務を行っている。

入園児は地域に住む子どもばかりでなく、勤務先が園の近くにあるということで、地下鉄・電車等で遠方から通園してくる子どももいる。

保護者の勤務時間が年々長くなり、延長保育を利用する家庭が増えている。

夜間保育は、美容師・デパート・飲食店などのサービス業の家庭の利用が多く、22時終了までの保育の子どもに疲れが見られる。

園の周りは繁華街で、子どもの遊びに適した場所が少ない。そのような中でも、日々の散歩や交通機関を利用して自然の中で遊ぶことを工夫している。

子ども関連複合施設の利点として、乳幼児期から小学校期までの子育ての見通しをもつことができる。

年間を通して、小学校・子育て支援総合センター・ミニ児童会館・保育園の交流が行われている。異年齢の交流、特に年長児は小学生との交流の積み重ねによって、次への見通しを持つことができ、良い経験となっている。

保護者にとっても、多彩な年齢の子どもの活動を目にすることで、年齢ごとの子どもの育ちを実感できている。

保育士も子どもたちと一緒に交流に参加することで、日常と違う角度から子どもたちを見ることができ、そのことが保育に活かされるようになってきた。また、教員や指導員と話し合うことで、子どもの育ちの学びが広がったり、保護者へのアドバイスにも参考になっている。

6. 聖書の学び・三園連絡会議

<聖書の学び>

■毎週火曜日に4歳児クラスと5歳児クラスが聖書と賛美の学び

■毎月第3木曜日に職員が聖書と賛美の学び

月	賛美 (上段：こども 下段：職員)	聖書のことば (上段：こども 下段：職員)
4月	ことりたちは	あなたがたは紙に愛されている子供です (エフェソの信徒への手紙5章1節)
	ことりたちは	あなたがたは紙に愛されている子供です (エフェソの信徒への手紙5章1節)
5月	つくしのように	あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。 (イザヤ書43章1節)
	つくしのように	あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。 (イザヤ書43章1節)
6月	ばらばら おちる	あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです (ペトロの手紙I4章10節)
	心やさしければ	あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです (ペトロの手紙I4章10節)
7月	うみで およぐ	今日を喜び祝い、喜び躍ろう。 (詩編118編24)
	よろこびあふれて	今日を喜び祝い、喜び躍ろう。 (詩編118編24)
8月	そのかず いくつ	主はすぐ近くにおられます。 (フィリピの信徒への手紙4章5節)
	たえずともいまして	主はすぐ近くにおられます。 (フィリピの信徒への手紙4章5節)
9月	主イエスとともに	わたしはあなたがたを友と呼ぶ。 (ヨハネによる福音書15章15節)
	主イエスとともに	わたしはあなたがたを友と呼ぶ。 (ヨハネによる福音書15章15節)
10月	うれしい あきの	いかにたのしいことでしょうか主に感謝をささげることは (詩編92編2)
	うれしい あきの	いかにたのしいことでしょうか主に感謝をささげることは (詩編92編2)
11月	かみさまに かんしゃ	わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい (ヨハネによる福音書15章12節)
	心やさしければ	わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい (ヨハネによる福音書15章12節)
12月	アドベントクランツに	学者たちはその星を見て喜びにあふれた。 (マタイによる福音書2章10節)
	神のみ子は今宵しも	学者たちはその星を見て喜びにあふれた。 (マタイによる福音書2章10節)

1月	せかいの こどもは	神は愛です。 (ヨハネの手紙Ⅰ 4章 16節)
	神様の愛は広く深い	神は愛です。 (ヨハネの手紙Ⅰ 4章 16節)
2月	ちから	愛は、すべてを完成させるきずなです。 (コロサイの信徒への手紙 3章 14節)
	ちから	愛は、すべてを完成させるきずなです。 (コロサイの信徒への手紙 3章 14節)
3月	やさしい めが	わたしは必ずあなたと共にいる。 (出エジプト記 3章 12節)
	主われにさきだち	わたしは必ずあなたと共にいる。 (出エジプト記 3章 12節)

※新型コロナウイルス感染症防止の為

11月以降子ども礼拝(お集まり)が中止となりました。

職員会議も、夜ではなく日中時間短縮をして行いました。(聖歌・聖句の確認 御言葉を職員に配布)

<三園連絡会議>

月日	賛美と聖書	議題
6月 22日	讚美歌 わがえらびしみちにあらで 聖書 ヨハネによる福音書 15章 16節	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の近況報告 ・法人監査について ・保育BOXの契約について ・コロナ感染対策について ・桑園()君について ・今年度三園連絡会議について(当面毎月実施)
7月 27日	賛美歌 神はふしぎなる 聖書 コリントの信徒への手紙 10章 13節	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の近況報告 ・救世軍会計監査 7/9 桑園 7/10 上町 7/11 しせいかん 7/13 小隊 ・コロナ感染症対策関連 (感染者を出さない、出た場合の対策) ・園外保育、運動会について ・施設長会議はリモート研修となる
8月 19日	賛美歌 主は我が何かを求めたもう	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の状況報告 ・人材確保について(正職採用) ・運動会について各園の状況について

	<p>聖書</p> <p>コリントの信徒への手紙</p> <p>8勝 12 節</p>	<p>(札幌市の感染状況を見ながら、三園で連絡を取り決めていく)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域からの苦情について (丁寧に改善) ・処遇改善 I について (三園で、情報交換していく)
10月7日	<p>賛美歌</p> <p>主のみあとたどりゆかん</p> <p>聖書</p> <p>フィリピの信徒への手紙</p> <p>1章 12 節~17 節</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の状況報告 ・就業規則の確認 (改正箇所) ・同一労働同一賃金について (三園でどうしていくのか) ・リモート研修受講に必要な IT 準備について ・各手当の支払日の確認 (寒冷地手当 処遇改善 I) ・今後の園内行事、園外保育について ・社会鍋について ・社会部長監査 11/6 桑園 11/7 しせいかん：小隊 11/9 上町 11/8 聖別会
11月7日	<p>賛美歌</p> <p>わが行くみちいつか</p> <p>聖書</p> <p>箴言 16章 9 節</p> <p>福祉社会部 部長来札</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の状況報告 ・就業規則について 常勤臨時職員・パートタイマー職員も規定改定 三園のフォルダーを作成していく ・正職化・前歴加算や昇給幅を今後検討していく。 ・法人との関わりについて 担当者を決めていく (法人) ・社会部長からのお話 (三園会議の中で、連絡、共有を大事に)
令和2年 1月20日	<p>賛美歌</p> <p>このままのすがたで</p> <p>新約聖書</p> <p>コリントの信徒への手紙</p> <p>12章 12 節~26 節</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保について ・同一労働同一賃金について (業務内容の明確化が必要) ・各園報告~三園連絡会議の大事さの確認。

<p>2月15日</p>	<p>讚美歌 しずけきのり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則・有給休暇について 給与規定（改正に伴い）新しく作成し提出 有給休暇をどの様に与えて方 社労士さんのアドバイスのもと決める パートタイマーの有給休暇はそのまま変えない 時間休は1時間単位である事を、職員に周知していく ・各園報告 オリエンテーションについて（感染症対策と工夫をして行う） 卒園式について（両親のみ参加 時間短縮等） 玄関先での受け入れについて（園内でしっかり考え対応していく） ・来年度の体制 三園リーダー・・・■■■さん 記録・・・■■■ おやつ他・・・■■■さんが引継ぐ
<p>3月6日</p>	<p>福祉社会部 部長来札</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桑園保育所新体制について ・今後の保育園運営と保育について ・三園の新体制 （園の問題、課題を話し合える関係） ・日本と世界の救世軍を見て学ぶ

7. 入所児童数<園児動向>

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	8	16	20	22	21	17	104
5月	8	16	20	22	21	17	104
6月	8	16	20	22	21	17	104
7月	8	16	20	22	21	17	104
8月	8	16	20	22	20	17	103
9月	8	17	20	22	20	17	104
10月	9	17	20	22	20	17	105
11月	9	17	20	22	20	17	105
12月	9	18	21	22	20	17	107
1月	9	18	21	22	20	17	107
2月	9	17	21	22	20	17	106
3月	9	17	21	22	20	17	106
計	102	201	244	264	244	204	1,259

<時間外保育・一時保育利用数>

月	昼型時間外	夜型時間外	時間外合計	一時保育
4月	154	38	192	0
5月	79	22	101	0
6月	178	41	219	0
7月	171	47	218	0
8月	164	34	198	0
9月	215	32	247	0
10月	252	39	291	0
11月	177	45	222	0
12月	212	46	258	0
1月	177	47	224	0
2月	170	34	204	0
3月	246	40	286	0
計	2,195	465	2,660	0

8. 職員に関する実績

<職務分担・職員名簿>

職種	職務分担	氏名
園長	経営管理、運営管理、法人関係、役所関係、業者関係、園内庶務一般	安達
主任保育士	園長・担任保育士との連絡調整、保育の指導・育成、勤務表作成、勤務調整、研修および休暇者の代替え、クラスの点検、名簿作成、各種プログラム、遊具および備品の安全点検と整理整頓	■■■■(兼任)
保育士	5歳児(かもしか組)クラス運営:園児 17名	■■■■
	4歳児(あひる組)クラス運営:園児 20名	■■■■
	3歳児(ひつじ組)クラス運営:園児 22名	■■■■
	2歳児(きりん組)クラス運営:園児 21名	■■■■
	1歳児(うさぎ組)クラス運営:園児 18名	■■■■
	0歳児(ぺんぎん組)クラス運営:園児 9名	■■■■
	夜間保育	■■■■
保育補助	フリー(保育補助)	■■■■
調理員	給食実務全体の管理、献立確認、材料の発注受払、調理配膳、調理室清掃、食器洗浄、献立確認	■■■■
用務員	園内清掃	■■■■
事務員	園内庶務一般	■■■■
嘱託職員	法人理念の指導、園児への情操教育、三園連絡会への出席と助言	■■■■
嘱託医	園児健康診断・歯科健診	■■■■

3月園児数合計・・・107名 職員数合計・・・30名(嘱託含む)

<職員資質向上・職員研修>

(1) 園外研修報告

日付	研修名	主催	参加者
9/8	私保連 乳幼児の体の見方	私保連	
10/9	乳幼児の身体の見方	私保連	
10/16	講演会	私保連	
10/29	乳幼児の運動・あそびとAKE	私保連	
11/29	子どもの健やかな成長を願って	私保連	
2/15	個の育ちから集団へ	私保連	
2/19	食物アレルギーup to date	私保連	
11/18 ~ 26	保育士キャリアアップ(乳児)	社会福祉協議会	
12/15 ~ 16	保育士キャリアアップ(障がい児)	社会福祉協議会	
11/27 ~ 12/4	保育士キャリアアップ(保護者支援・子育て支援)	社会福祉協議会	
12/18 ~ 22	保育士キャリアアップ(マネジメント)	社会福祉協議会	
1/12 ~ 1/23	保育士キャリアアップ(保健衛生・安全対策)	社会福祉協議会	
1/5~1/8	保育士キャリアアップ(食育・アレルギー対応)	社会福祉協議会	
1/26 ~ 2/5	保育士キャリアアップ(幼児教育)	社会福祉協議会	

(2) 園内研修報告

日付	内容	日付	内容
4月	コロナ感染予防の為、実施なし	10/8	運動会反省
5月	コロナ感染予防の為、実施なし	11/12	食について
6/11	研修報告より自己肯定感を考える	12/10	生活リズムについて
7/7	水・泥あそびについて	1/14	年長の活動について
8/4	平和について	2/10	学びの振りかえり
9/10	運動会準備	3/11	卒園式準備

(3) 職員会議等実績

月	職員会議	学習会	三園連絡	期の総括	指導監査	法人監査	備考
4月	16日						
5月	21日						
6月	16日	11日	22日				
7月	30日	9日	27日			11日	財務部長
8月	20日	6日	19日	1日			
9月	17日						
10月	19日	8日	7日				
11月	19日	12日	7日			7日	人事部長 理事
12月	14日	10日		5日			
1月	20日	14日					
2月	17日	10日	15日				
3月	18日		7日	27日			札幌市監査 書類送付 次年度4月に電話監査 (コロナ感染症対策)

<法人三園合同行事>

新型コロナウイルス感染症対策の為、中止

<福利厚生>

- ・ 職員健康診断
- ・ インフルエンザ予防接種補助
- ・ 被服費支給
- ・ 不織布マスク配布

9. 保育課程 <保育の内容>

教育及び保育の内容に関する全体的な計画

事業の目的	乳幼児が心身ともに健やかに育つよう看護と教育が一体化した保育を行うことを目的とする。救世軍の主観及び精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が心も身体も健全に成長するために地域と共に歩む共同体を目指す。					保育目標 (園)	心身ともに元気な子ども ・自分の思いを表現し相手の気持ちを思いやる子ども ・自分のことは自分で子ども					
保育方針	乳幼児期は人間形成において基礎となるきわめて重要な時期です。家庭との連携を大切にして元気な子どもを育てていく。					保育時間	昼型	7:00-18:00(-19:00時間外)				
							夜型	(8:00-時間外) 10:00-21:00(-22:00時間外)				
						主な行事	園外保育、誕生会、クラス懇談会、夏祭り、お泊り会、運動会、クリスマス会、果物狩り、秋祭り、餅つき、節分、卒園式					
保育の目標	<p>◎子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う</p> <p>ア、生命の保持及び情緒の安定を図る</p> <p>イ、心身の健康の基礎を培う</p> <p>ウ、人に対する愛情と信頼感、人格を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う</p> <p>エ、生命、自然及び社会への興味・関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う</p> <p>オ、言葉の興味や関心の心を育て、言葉の豊かさを養う</p> <p>カ、豊かな感情や表現力を育み、創造性の芽生えを培う</p>					◎入所する子の保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を活かしてその援助に出る						
子どもの保育目標	0歳児	生活リズムを整え、快・不快の感覚を育てる。		1歳児	安心できる保育士との関係の中で自分の思いを出す。		2歳児	自我の拡大から充実に向かう中で、自分や友達の存在がわかる。				
	3歳児	生活習慣が身につき、友達と遊ぶ楽しさが広がる。		4歳児	仲間や保育士と遊ぶことが楽しくなり、簡単なルールを守って遊ぶことができるようになる。		5歳児	生活や遊びの中で意欲的に仲間と共通の課題に向かい、達成感を喜び合う。				
保育所保育に関する基本原則/役割	児童福祉法に基づき保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が家庭との連携の下に養護及び教育を一体的に行う。保護者支援及び地域子育て支援を行う。					養護に関する基本的事項	養護とは子どもの生命保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりである。養護及び教育を一体的に行う保育を通じて養護に関するねらい及び内容をふまえた保育を展開する。					
保育の方法/環境	健康・安全な環境を整え、一人ひとりの発達過程に応じて乳幼児期にふさわしい体験が得られるよう、生活やあそびを通して総合的に保育をする。子どもの生活が豊かなものとなるよう環境を構成し、工夫して保育を行う。					保育の計画と評価	保育の目標達成のため、方針や目標に基づき子どもの発達過程をふまえた保育内容が構成され、総合的に展開されるよう全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い改善を図る。評価結果の公表に努める。					
保育所の社会的責任	人権に配慮するとともに子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育内容を適切に説明する。個人情報適切に取り扱い、保護者の苦情などを解決するよう努める。					幼児教育を行う施設として共有すべき事項	生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標をふまえた「資質・能力の3本の柱」を一体的に育むよう努める。「幼児期に育ってほしい姿」は、そこに向かう姿として保育士等が指導を行う際に考慮する。					
養護	乳児		1歳児(満1歳より)		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
	生理的欲求の充実にを図る		生命の保持		一人ひとりの健康状態を把握し快適に過ごせるようにする		適度な休息をとりながら伸び伸びと活動する		基本的な生活習慣を身につけられるよう援助する		日常生活に必要な習慣や態度を身につける	
	応答的なふれあい、言葉かけで安心感をもたせる		情緒の安定		温かなやりとりにより安定感をもつて過ごす		生活やあそびを通して自我を育てる		友だちや保育士との関わりが広がるようにする		生活やあそびを通じて友だちの中で自分を表現し、達成感を育てていく	
教育	健やかに伸び伸びと育つ		健康		歩行の確立により活動が活発になる		保育士の援助を受けながら自分の身の回りのことを意欲的にしようとする		いろいろなあそびの中で十分に体を動かす		自分の身体に関心を持つ。異常を感じたら自分から保育士等に知らせる	
	身近な人と気持ちよく通じ合う		人間関係		身近な大人や友だちに関心を持ち、真似したり関わろうとする		保育士の援助により友だちに関心を持ち、一緒に遊ぶ		ごっこあそびなどを通して簡単なルールがわかるようになる。友だちと楽しく遊ぶ		友だちと共同で道具を使ったり相手のことを思いやることが行動する	
	身近な人と気持ちよく通じ合う		環境		身近な大人や友だちに関心を持ち、真似したり関わろうとする		保育士の援助により友だちに関心を持ち、一緒に遊ぶ		ごっこあそびなどを通して簡単なルールがわかるようになる。友だちと楽しく遊ぶ		友だちと共同で道具を使ったり相手のことを思いやることが行動する	
	身近な人と気持ちよく通じ合う		言葉		片言や一語文、指さし身振りなどで自分の意思を伝えようとする		生活やあそびを通して、友だちと言葉でのやり取りを楽しむ		絵本や紙芝居を親しむ自分の意志を言葉で伝え、相手の話も聞くようになる		絵本などに興味を持ち、イメージを広げながら友だちとの会話を楽しむ	
身近なものと関わりあう		表現		様々な素材に触れて楽しむ歌ったり手あそびをしたり、リズムをするなどを動かしてあそぶ		自分なりのイメージをふくらませ保育士や友だちと楽しんであそぶ		いろいろな素材や用具に親しみ友だちと歌ったりリズムをする		描く、体を動かすなど自由に表現することを友だちとともに楽しむ		
幼児期の終わりまでに育ってほしい10項目	ア、健康な心と体 イ、自立心 ウ、協同性 エ、道徳性・規範意識の芽生え オ、社会生活との関わり カ、思考力の芽生え キ、自然との関わり・生命尊重 ク、数量や図形、探検や文字などへの関心・感覚 コ、言葉による伝え合い コ、豊かな感性と表現					教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱	ア、「知識及び技能の基礎」豊かな経験を通じて、感じたり、気づいたり分かったり、できるようになったりするイ、「思考力・判断力・表現力等の基礎」気づいたことや、できるようになったことを使い、考えたり、決したり、工夫したり、表現したりするウ、「学びに向かう力・人間性等」心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする					
健康支援/状態把握・増進・疾病対応	・発熱時及び保育中の状態把握 ・内科健診(乳児は隔月、幼児は年2回) ・疾病への適切な対応 ・年間保健指導計画(別紙参照)					小学校との連携	・幼児期にふさわしい生活を通じて、小学校以降の生活や学習の基礎となる資質・能力を育む。 ・小学校教師との意見交換や合同研究の機会を設け、円滑な連携を図り、保育所保育要録を小学校に送付する。					
食育の増進	・食育活動の実施(クッキング、野菜づくり、行事食など) ・食物アレルギー等、配慮の必要な子への対応 ・食育計画(別紙参照)					子育て支援	・クラス懇談会、個別面談 ・保育参観 ・子どもに発達上の課題がある場合、関係機関と連携する ・子育て支援総合センターとの交流					
環境及び衛生管理並びに安全管理	・施設内外の設備及び用具等の衛生管理、点検 ・安全対策のための職員の共通理解や体制作りを図る ・交通安全教室(年2回) ・安全管理マニュアル(別紙参照)					職員の資質向上	・質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員の専門性の向上を図る ・園内学習会の充実 ・園外研修への参加					
災害への備え	・避難訓練(火災、地震、不審者対応)毎月 ・緊急時の対応 ・地域との関係機関との連携											

<各年齢のまとめ>

0歳児 ペんぎん組

年間目標 ・安心できる環境で快、不快を感じ大人と関わっていく中でこち良さを感じ愛着関係を築いていく。

年度後半に保育を振り返り、子どもが主体となるような関わりを目指してきたことで、子どもたちが良く遊ぶようになってきた。保護者には、子どもの成長や保育園での遊びの様子をこまめに話すようになってきた。

1歳児 うさぎ組

年間目標 ・身の回りのことを自分でやろうとしたり、保育士に励まされたりしながら意欲的に生活をしていく。

- ・保育士との信頼関係を深めて思いをたくさん出していく。
- ・楽しい経験を重ねる中で友達との関係を築き始めていく。

生活の流れを覚えてきて子どもなりに見通しを持って生活をするようになった。物の取り合いなどでもめることも多かったが、友だちや保育士と追いかけて楽しむ姿が見られた。子どもが十分遊べていない家庭に早めの登園を促すことで子どもの遊ぶ時間が増えた。1歳児のイヤイヤ時期に困っていることに寄り添いながら、子育てを考えてきた。

2歳児 きりん組

年間目標 ・生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。

- ・友達と一緒にあそび、時には思いをぶつけ合い、対人関係の土台を育てていく。
- ・自分の身体を動かす喜びを高めていく。
- ・生活や遊びを通して言葉でのやりとりや表現する楽しさを味わう。

子ども同士であそぶことがとても多くなってきた。特定の仲良しだけでなく、様々な友達とあそぶ姿も見られる。自己主張が少なかった子も友達とあそぶ中で思いを出すようになってきている。ケンカの際には、見守りを大事にしなが互いの思いを丁寧に仲立ちしてきた。

食事や衣類の着脱など身の回りのことが自分で随分できるようになってきている。

3歳児 ひつじ組

年間目標 ・基本的な生活習慣が身につくまで見通しを持って生活する。

- ・全身を使ってのびのびとあそび、友達と関わることの楽しさを味わう。
- ・感じたことや経験などを言葉で表現していく。

身の回りのことが中々、身につくまで行かなかった。また、遊びも保育士の主導が強くなりがちだった。子どもたち

が、のびのびと生活をしていくよう、保育の在り方や家庭との連携、子どもが主体の保育が今後の課題としていく。保護者には、短時間でも子どもの様子を話すように努めてきた。

4歳児 あひる組

- 年間目標
- ・ 基本的な生活習慣が身につくよう、自ら気づいて行動しながら意欲的に生活をしていく。
 - ・ 仲間とのかかわりの中で自分の思いを言えたり、相手の思いを知ったりしながら、少しずつ一緒に考えたり力を合わせられるようになり、その楽しさや喜びをたくさん経験していく。

衣類など保育園生活に必要な物の準備を保護者がしてしまう家庭が多くみられた。家庭でも、子どもが自分で準備、管理できるように関わってもらおうように今後も働きかけを続けていく。コロナ感染予防のため、園外保育が十分できなかったが、近くの公園等に出かけ自然を感じた。園庭や室内でも工夫して体を動かしてきた。あそびや生活の中で、ぶつかり合うことが多いが、仲間を思う気持ちが出てきている。

5歳児 かもしか組

- 年間目標
- ・ 生活や遊びの中で仲間と共に考え、協力し合い自分たちで生活をつくっていく。
 - ・ 仲間と遊ぶことを楽しむ中で、互いを認め合い、支え合っていく。

グループで当番活動を行ってきたが、卒園間近でようやく仲間と協力してやることが増えてきた。姿勢を保てず、座っている時にテーブルに肘をつき、片足を立ててバランスを取っている子が多かった。リズム運動や遊びで体をよく動かす中で随分と体がしっかりしてきた。園外保育はコロナウイルス感染予防のため例年より少なかったが、海あそび、山登り、乗馬、芋ほりなどの経験ができた。子どもたちに楽しい経験をさせたいと日々の保育の工夫をしてきた。

夜間

年間目標

- ・ 家庭的な雰囲気の中で心地よく過ごしていく。
- ・ 友だちや保育士と関わる中で自分の思いを出し、仲間の思いも聞き受けとめていく。

年間を通して利用人数が少なく、お迎え時間は早いことが多かった。

1歳児～5歳児の年齢差のある中で偏りのないよう関わってきた。日中のクラス担任とコミュニケーションをとり、夜間保育に活かしていくことと、保護者との関係をふかめていくことを今後の課題とする。

10. 年間行事報告

月日	行事	内容・感想
4月	父母の会 総会	新型コロナウイルス感染予防のため中止
5月	園医健診	//
6月 4日	交通安全教室	//
8月 7日	夏まつり (全園児)	笹竹に願い事を書いた短冊を下げ、年長児が作った天の川をホールの天井に飾り盆踊り年長児がお店屋になりヨーヨーとシャボン玉を小さい子たちに渡した。
27日	海遊び(5歳児)	岩場でカニとりに夢中になった。ライフジャケット着用で安全を守る。
9月16-17日	合宿(5歳児)	保育園に一泊する。子どもたちは見通しを持って生活をしていた。 一日目はグラスボート体験で船上から海の景色や海の底を見たり、カモメに餌やりをして楽しめた。
10月3日	運動会	コロナウイルス感染予防のため二部構成で行った。子どもたちがのびのびと体を動かす姿に成長を感じた。
6日	芋掘り(5歳児)	掘り出したサツマイモを比べて喜んでいて。その後、味覚祭や各クラスのクッキングで美味しくいただいた。
9日	味覚祭(5歳児)	盛りつけられたキノコ、果物、鮭を見て秋を感じた。年長児が収穫してきたサツマイモも焼いて食べることができた。
15日	乗馬(5歳児)	子どもたちは、自分で決めた馬に乗り馬の息遣いや温かさを感じて嬉しそうにしていた。乗馬のあとに広場で遊んで楽しめた。
21日	歯科検診(全園児)	
26日	円山登山(5歳児)	紅葉の中、登山を楽しんだ。子どもたちは、リスに出会えて喜んでいて。
27日	円山登山(3歳児)	初めての登山を楽しみにしていた。登山の後のあそびに登山ごっこをする姿がみられた。
29日	円山登山(4歳児)	頂上からの景色に歓声を上げ、自然のおいを感じられ、良い経験ができた。
11月13日	こぶし座観劇	コロナウイルス感染予防のため中止
16日	円山登山(4歳児)	2回目で子どもたちは見通しを持って登った。
12月17日	クリスマス会(3, 4, 5歳児)	コロナウイルス感染予防のため例年の演奏会を取りやめ、保育士によるハンドベル演奏を行った。
25日	もちつき(5歳児)	お正月用の鏡餅を搗いた。年長児は杵が重たいことに驚いていた。
1月18日	門付け(1~5歳児)	コロナウイルス感染予防のため、換気をしながら密にならないように工夫した。 例年は無病息災を願って獅子に頭を噛んでもらっていたが、今回は、獅子舞だけとした。見た後に子どもたちは、獅子舞ごっこ楽しんでいて。
2月 2日	節分(全園児)	年長児が扮する鬼に小さい子たちは、紙の豆を投げた。
25日	雪中運動会(3~5歳児)	雪上でリレーなどをした後、おやつを食べて楽しんだ。
3月 3日	ひなまつり(3~5歳児) お茶会(5歳児)	コロナウイルス感染予防として幼児クラスのみ集まりとした。ひなまつりの絵本の読み聞かせと歌で祝う。コロナ予防策を講じながら、日本文化を体験した。晴天の中、子どもたちは思い切り走り、障害物に挑んでいた。
13日	卒園式(5歳児)	コロナ感染予防のため、一家庭2名の参加とし、4歳児親子の参加は自粛した。短時間ではあったが、二部のリズムもすることができた。

29日	お別れ会・進級式（3～5歳児）	年長児とのお別れをした。年長児から4歳児にお当番に使う雑巾が渡された。進級式では、3～4歳児が一つ大きくなることを話すとどの子も喜んでいた。
-----	-----------------	--

1 1 . 食育実践

日付	クラス	目的	感想
R2年6月9日	5歳児	種から育てた野菜を収穫して食べる。	甘酢味で食べやすく、おかわりをする子が多かった。
メニュー		レシピ	
ラディッシュ甘酢づけ		ラディッシュを薄切りにして甘酢につける。	

日付	クラス	目的	感想
R2年7月10日	4歳児	収穫した大葉を食べる。	摘みたての大葉の香りを楽しんだあと、保育士が調理するのを子どもたちは見る。昼食時にごはんにのせて食べると「おいしい！」と子どもたちの声がいっぱいだった。
メニュー		レシピ	
大葉みそ		刻んだ大根をゴマ油で炒め甘みそでからめる。	

<総評>

- ・ 自分たちが育てた野菜等を用いたクッキングを行うことで、収穫のよろこびやおいしさを味わうことができた。
- ・ 早寝・早起き、朝ごはんの大切さを、園だより、クラスだよりで繰り返し知らせてきたが、中々、改善できない家庭がみられた。
- ・ 畑づくりやクッキングを通して、食べることへの興味をもち、みんなで一緒に食べることを楽しんでいた。

1 2 . 施設設備に関する実績

<施設設備>

- ・ 園庭土のうシート取替(4月)
- ・ リース冷蔵庫・冷凍庫・牛乳保管庫(5月)
- ・ ガスオープン扉バネ修理(6月)
- ・ 厨房窓枠取替(6月)
- ・ 男の子用便器修理(8月)
- ・ 保育室引き戸修理(3月)

他児に首元をつかまれ柵のある方に投げつけられたことで、柵にぶつかり左目の下あたりから出血する。形成外科を受診し、眼軟膏を処方された。1週間後に再受診した日が完治日。

10月12日（1歳児）

園庭でつまずいて転倒した際に木製のベンチの角に上左前歯をぶつけ出血する。

歯科を受診する。歯には異状なく口の中を消毒する。

11月11日（1歳児）

園庭人工芝で転び、口のあたりをぶつける。翌日、唇の腫れと歯茎の傷が気になるため、歯科を受診する。歯に異状なく消毒した。

1 4 . 防災計画実績

<自衛消防隊>

防火責任者	園長	
通報・連絡	事務員	防火責任者(園長)に連絡し、119番通報
初期消火	調理員・用務員	消火器を用いて初期消火の任にあたる
避難・誘導	全保育士	
探索・救護	園長 主任保育士・フリー保育士	残留児の確認、救出、誘導、 救急品持出、応急処置(必要時)
保護者への引渡し確認	各組担任保育士	必ず避難場所を確認後、保護者へ引き渡す
非常書類持出	園長 事務員	書類関係 登園表、緊急連絡網

<避難訓練>

日付	訓練内容および反省
4月17日(給食室出火) 避難・消火・誘導	火災についての話を聞く →5歳児はホールでリズム、ほかのクラスは園庭あそびをしていた。館内放送の後、保育士の指示を聞いて避難経路に従い避難した。新入児も混乱することなく避難ができていた。
5月14日(地震) 避難・消火・誘導	ベルの音で避難経路に従い避難を行う(全館避難訓練) →毎月の訓練で「避難」を理解できている子をまねて、新入児もスムーズに行動できていた。アナウンスをしっかりと聞かずに、動き出したクラスがあった。今後は安全な避難を心がけたい。

6月17日(給食室出火) 避難・消火・誘導	ベルの音で静かに指示を聞く(午前保育中) →3~5歳児クラスがホールで鬼ごっこをしていた。避難のアナウンスが入ると大声を出す子が数名あった。全体に騒がしくなり保育士の指示する声が聞こえない場面がみられた。訓練終了後、子どもたちにアナウンスが流れたときは、静かにして保育士の指示をしっかりと聞くように話した。
7月24日(小学校出火) 避難・消火・誘導	抜き打ち訓練(午睡明け) →昨日、館内で誤作動による警報があり、職員の誘導で避難した。本日の警報を聞いて「また」という思いで年長児が大騒ぎをした。アナウンスをしっかりと聞かずに勘違いして指示以外の避難口に向かったクラスがあった。子どもには訓練の大切さを話し、保育士には指示を確実に聞くよう話す。
8月27日(給食室出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(おやつ時) →大声を出して避難する幼児が数名いたが、やがて静かに避難する。 0歳児を両腕に抱え、避難していたがオンプ紐を使うことも必要と思われる。
9月6日(小学校出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(全館避難訓練) →緊急放送を聞いた瞬間、子どもたちは保育士の側に行こうとしていた。保育士の指示により4・5歳児はグランド中央に、他の子どもたちは園庭付近に集まった。学校長の「自分の命を守る」「本番のように」の訓示を園児にも伝えていく。
10月23日(小学校出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(午睡明け) →午睡の起きがけだったが、保育士の誘導でスムーズに避難できた。0歳児はオンプ紐も使い、他クラスの援助も受けて避難した。子どもの人数報告に違いがあった。名簿と照らし合わせて正確な人数を確認する必要がある。
11月12日(給食室出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(おやつ準備中) →0~2歳児クラスは大人が上着を持ち、3~5歳児は上着を持って避難した。全体的にアナウンスを聞いて行動することが身ついてきている。
12月25日(小学校出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(午後室内保育中) →保育士の誘導で避難することができた。幼児クラスは上着を羽織って避難したが、混乱はなかった。
1月24日(小学校出火) 避難・消火・誘導	火災に気が付いた職員が夜間保育中の保育士に知らせる。 →夕食を終えたときに、火災発生を知らされた。あそびを切り上げられない3歳児に手こずったが誘導避難した。
2月18日(給食室出火) 避難・消火・誘導	避難経路に従い避難する(午前保育中) →乳児クラスは昼食に向かう時間帯で、園庭から入ってくる子、着替えている子など動きが色々あったが、保育士の指示で避難ができた。幼児クラスは園庭で遊んでいたが、アナウンスを聞き自主的に保育士のところに集まる姿がみられた。
2月19日(地震) 避難・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(全館避難訓練) →4、5歳児は保育室にいたので、ジャンパーを着てグラウンドへ出た。着衣に少し時間がかかったが、落ち着いて避難していた。2歳児10名は散歩中だったため、連絡をして注意を促した。
3月26日(小学校出火) 避難・消火・誘導	コロナウイルス感染予防対応のため実施しなかった。

15. 要望・苦情に対する対応

今年度は、ありませんでした。

16. 保護者に関する実績

<父母の会・懇談会・親子観劇>

父母の会	定期総会(5月14日) 役員会……年8回開催。
懇談会	コロナウイルス感染拡大状況により、日程調整がつかず、 個人・グループ懇を行った。
親子観劇会	コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった。

<保護者アンケート>

回収率 50.0 %

(1) 施設の利用には、満足していますか？

① とても良い	45.5 %
② 良い	40.9 %
③ 普通	13.6 %
④ あまり良くない	0.0 %
⑤ 良くない	0.0 %

(2) 施設や設備は、良好に管理されていると思いますか？

① とても良い	39.4 %
② 良い	47.0 %
③ 普通	10.6 %
④ あまり良くない	3.0 %
⑤ 良くない	0.0 %

(3) 保育園の行事について、どう思いますか？

① とても良い	31.8	%
② 良い	48.5	%
③ 普通	15.6	%
④ あまり良くない	4.5	%
⑤ 良くない	0.0	%

(4) 保育園の食事（おやつ）について、どう思いますか？

① とても良い	39.4	%
② 良い	43.9	%
③ 普通	16.7	%
④ あまり良くない	0.0	%
⑤ 良くない	0.0	%

(5) 職員（保育士など）の対応は良好ですか？

① とても良い	54.6	%
② 良い	40.9	%
③ 普通	4.5	%
④ あまり良くない	0.0	%
⑤ 良くない	0.0	%

(6) 保育サービス全体の評価はいかがですか？

① とても良い	39.4	%
② 良い	48.5	%
③ 普通	10.6	%
④ あまり良くない	1.5	%
⑤ 良くない	0.0	%

17. 施設間と地域との交流実績

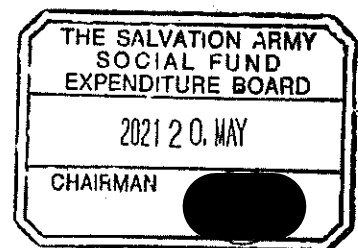
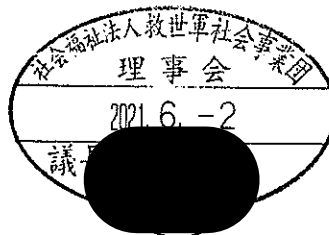
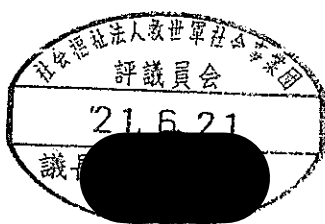
新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は交流を行わなかった。

札幌市しせいかん保育園

令和 2 年度決算書

法人名
法人代表者
施設名
施設代表者

社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 ケネス・メイナ
札幌市しせいかん保育園
施設長 安達津恵子



第一号第四様式（第十七条第四項関係）

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業収入	保育事業収入	139,544,000	135,554,534	3,989,466	公定価格引き下げ・園児数の減少により減額
	委託費収入	117,166,000	118,341,690	△1,175,690	委託料・夜間共に過少見込
	その他の事業収入	22,378,000	17,212,844	5,165,156	
	補助金事業収入	20,389,000	15,226,594	5,162,406	正職加算追加見込分が未加算
	市区町村人件費補助金	11,412,000	6,462,897	4,949,103	正職加算見込分が未加算
	延長保育促進事業補助金	7,141,000	6,781,950	359,050	
	市区町村その他補助金	1,266,000	62,000	1,204,000	コロナウイルス感染症対策補助金、科目振替
	補助事業に係る利用者負担金収入	570,000	576,912	△6,912	
	その他の補助金	0	1,342,835	△1,342,835	コロナウイルス感染症対策補助金
	その他の事業収入	1,989,000	1,986,250	2,750	
	経常経費寄附金収入	247,000	247,252	△252	
	経常経費寄附金収入	247,000	247,252	△252	
	受取利息配当金収入	1,000	826	174	
	受取利息配当金収入	1,000	826	174	
	受取利息	1,000	826	174	
	その他の収入	1,196,000	1,213,670	△17,670	
	受入研修費収入	20,000	20,000	0	
	その他	20,000	20,000	0	
	利用者等外給食収入	1,176,000	1,169,920	6,080	
	雑収入	0	23,750	△23,750	
雑収入(消費税対象外)	0	23,750	△23,750		
事業活動収入計(1)	140,988,000	137,016,282	3,971,718		
事業活動支出	人件費支出	118,547,000	113,383,163	5,163,837	パート保育士(1名)採用予定
	職員給料支出	49,372,000	49,251,108	120,892	
	職員俸給支出	38,438,000	38,437,564	436	
	職員諸手当支出	10,934,000	10,813,544	120,456	
	通勤手当	1,434,000	1,442,330	△8,330	
	その他手当	9,500,000	9,371,214	128,786	
	職員賞与支出	19,882,000	19,882,041	△41	
	その他手当	19,882,000	19,882,041	△41	
	非常勤職員給与支出	28,921,000	26,795,201	2,125,799	見込過多
	賃金	5,940,000	5,950,950	△10,950	
	通勤手当	1,725,000	1,534,617	190,383	
	嘱託医手当	232,000	231,579	421	
	その他	21,024,000	19,078,055	1,945,945	夜間パート、超勤見込過多
	退職給付支出	4,542,000	2,775,115	1,766,885	見込過多
	福祉医療機構	1,202,000	1,157,000	45,000	
	その他	3,340,000	1,618,115	1,721,885	見込過多(2名翌年度扱い)
	法定福利費支出	15,830,000	14,679,698	1,150,302	見込過多
	健康保険料・介護保険料	14,810,000	13,655,373	1,154,627	
	雇用保険料	1,020,000	1,024,325	△4,325	
	事業費支出	17,528,000	17,269,918	258,082	
給食費支出	6,500,000	6,414,601	85,399		
利用者給食費	6,500,000	6,414,601	85,399		
保健衛生費支出	681,000	637,181	43,819		
衛生用品	650,000	615,130	34,870		
医薬品費	10,000	931	9,069		
その他	21,000	21,120	△120		
保育材料費支出	1,200,000	1,148,830	51,170		
保育材料費	600,000	574,973	25,027		
保育行事費	600,000	573,857	26,143		
水道光熱費支出	3,594,000	3,566,076	27,924		
ガス	180,000	152,076	27,924		
その他	3,414,000	3,414,000	0		
燃料費支出	2,862,000	2,862,000	0		
消耗器具備品費支出	1,650,000	1,620,407	29,593		
課税物品	1,650,000	1,620,407	29,593		
保険料支出	260,000	250,125	9,875		
損害保険	260,000	250,125	9,875		
賃借料支出	751,000	747,108	3,892		
リース料	661,000	661,576	△576		

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
る	レンタル料	40,000	39,875	125	
	その他	50,000	45,657	4,343	
	雑支出	30,000	23,590	6,410	
	その他	30,000	23,590	6,410	
	事務費支出	4,353,000	4,208,429	144,571	
	福利厚生費支出	423,000	398,993	24,007	
	職員健康診断料	253,000	252,819	181	
	慶弔費用	50,000	40,000	10,000	
	その他課税支出	30,000	16,954	13,046	
	その他対象外支出	90,000	89,220	780	
	旅費交通費支出	40,000	33,800	6,200	
	交通費	40,000	33,800	6,200	
	研修研究費支出	42,000	44,458	△2,458	
	研修会参加費	14,000	14,000	0	
	書籍・資料	28,000	30,458	△2,458	
	事務消耗品費支出	160,000	169,773	△9,773	
	印刷製本費支出	320,000	382,575	△62,575	
	修繕費支出	500,000	437,866	62,134	
	通信運搬費支出	447,000	440,183	6,817	
	電話料金	412,000	407,433	4,567	
	郵便料金(宅配便含む)	35,000	32,750	2,250	
	会議費支出	12,000	11,598	402	
	業務委託費支出	1,447,000	1,446,720	280	
	内部清掃委託料	160,000	159,720	280	
	警備業務委託料	660,000	660,000	0	
	税理士事務所報酬	385,000	385,000	0	
	社会保険労務士	242,000	242,000	0	
	手数料支出	480,000	434,052	45,948	
	銀行手数料	110,000	106,970	3,030	
	産業廃棄物処理料	250,000	224,012	25,988	
	その他	120,000	103,070	16,930	
	土地・建物賃借料支出	168,000	167,824	176	
	土地	168,000	167,824	176	
	租税公課支出	4,000	3,916	84	
	内部取引	4,000	3,916	84	
	保守料支出	110,000	74,471	35,529	
	OA、ソフト	110,000	74,471	35,529	
	雑支出	200,000	162,200	37,800	
	その他の支出	1,176,000	1,169,920	6,080	
	利用者等外給食費支出	1,176,000	1,169,920	6,080	
事業活動支出計(2)	141,604,000	136,031,430	5,572,570		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△616,000	984,852	△1,600,852		
施設整備等による収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収入	その他の活動による収入	2,114,000	2,608,823	△494,823	
	退職給付引当資産取崩収入	1,100,000	1,594,365	△494,365	
	過年度修正額収入	1,014,000	1,014,458	△458	
	その他の活動による収入計(7)	2,114,000	2,608,823	△494,823	
	拠点区分間繰入金支出	209,000	209,000	0	
	拠点区分間繰入金支出	209,000	209,000	0	
	本部へ繰入金支出	209,000	209,000	0	
その他の活動による支出	その他の活動による支出	2,246,000	2,251,435	△5,435	
	退職給付引当資産支出	2,240,000	2,245,435	△5,435	

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収支	過年度修正額支出	6,000	6,000	0	
	その他の活動支出計(8)	2,455,000	2,460,435	△5,435	
	その他の活動資金収支差額(9)-(10)	△341,000	148,388	△489,388	
予備費支出(10)		0	—		
		0			
当期資金収支差額合計(11)=(9)+(10)-(10)		△957,000	1,133,240	△2,090,240	
前期末支払資金残高(12)		20,211,000	20,210,933	67	
当期末支払資金残高(13)=(12)		19,254,000	21,344,173	△2,090,173	

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
収	保育事業収益	135,554,534	150,109,568	△14,555,034	
	委託費収益	118,341,690	128,503,800	△10,162,110	
	その他の事業収益	17,212,844	21,605,768	△4,392,924	
	補助金事業収益	15,226,594	20,540,268	△5,313,674	
	市区町村人件費補助金	6,462,897	12,050,520	△5,587,623	
	延長保育促進事業補助金	6,781,950	7,156,050	△374,100	
	市区町村その他補助金	62,000	362,800	△300,800	
	補助事業に係る利用者負担金収入	576,912	970,898	△393,986	
	その他の補助金	1,342,835	0	1,342,835	
	益	その他の事業収益	1,986,250	1,065,500	920,750
		経常経費寄附金収益	247,252	84,000	163,252
		経常経費寄附金収益	247,252	84,000	163,252
		寄附金収益	247,252	84,000	163,252
		サービス活動収益計(1)	135,801,786	150,193,568	△14,391,782
サ ー ビ ス 活 動 費	人件費	114,047,233	125,903,420	△11,856,187	
	職員給料	49,251,108	59,184,686	△9,933,578	
	職員俸給	38,437,564	45,164,026	△6,726,462	
	職員諸手当	10,813,544	14,020,660	△3,207,116	
	通勤手当	1,442,330	1,780,400	△338,070	
	その他手当	9,371,214	12,240,260	△2,869,046	
	職員賞与	14,695,041	16,847,340	△2,152,299	
	その他手当	14,695,041	16,847,340	△2,152,299	
	賞与引当金繰入	5,200,000	5,187,000	13,000	
	非常勤職員給与	26,795,201	24,699,947	2,095,254	
	賃金	5,950,950	2,720,999	3,229,951	
	通勤手当	1,534,617	1,370,020	164,597	
	嘱託医手当	231,579	231,579	0	
	その他	19,078,055	20,377,349	△1,299,294	
	退職給付費用	3,426,185	3,814,205	△388,020	
	福祉医療機構	1,157,000	1,290,500	△133,500	
	退職給付引当金繰入	2,245,435	2,523,705	△278,270	
	その他	23,750	0	23,750	
	法定福利費	14,679,698	16,170,242	△1,490,544	
	健康保険料・介護保険料	13,655,373	15,370,904	△1,715,531	
	雇用保険料	1,024,325	799,338	224,987	
	事業費	17,269,918	18,153,541	△883,623	
	給食費	6,414,601	7,315,174	△900,573	
	利用者給食費	6,414,601	7,315,174	△900,573	
	保健衛生費	637,181	702,976	△65,795	
	衛生用品	615,130	683,836	△68,706	
	医薬品費	931	0	931	
	その他	21,120	19,140	1,980	
	保育材料費	1,148,830	1,338,543	△189,713	
	保育材料費	574,973	240,244	334,729	
	保育行事費	573,857	1,098,299	△524,442	
	水道光熱費	3,566,076	3,562,336	3,740	
	ガス	152,076	179,336	△27,260	
その他	3,414,000	3,383,000	31,000		
燃料費	2,862,000	2,836,000	26,000		
消耗器具備品費	1,620,407	1,395,860	224,547		

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
動	課税物品	1,620,407	1,395,860	224,547	
	保険料	250,125	257,650	△7,525	
	損害保険	250,125	257,650	△7,525	
	賃借料	747,108	719,258	27,850	
	リース料	661,576	631,001	30,575	
	レンタル料	39,875	42,659	△2,784	
	その他	45,657	45,598	59	
	雑費	23,590	25,744	△2,154	
	その他	23,590	25,744	△2,154	
	事務費	4,208,429	4,933,641	△725,212	
	増	福利厚生費	398,993	409,652	△10,659
		職員健康診断料	252,819	228,442	24,377
		慶弔見舞金	40,000	52,960	△12,960
		その他課税支出	16,954	27,820	△10,866
		その他対象外支出	89,220	100,430	△11,210
		旅費交通費	33,800	76,755	△42,955
		交通費	33,800	66,147	△32,347
		宿泊費・日当	0	10,608	△10,608
		研修研究費	44,458	533,763	△489,305
		研修会参加費	14,000	171,014	△157,014
減	書籍・資料	30,458	34,265	△3,807	
	研修旅費	0	328,484	△328,484	
	事務消耗品費	169,773	279,755	△109,982	
	印刷製本費	382,575	463,638	△81,063	
	修繕費	437,866	253,755	184,111	
	通信運搬費	440,183	516,446	△76,263	
	電話料金	407,433	453,099	△45,666	
	郵便料金(宅配便含む)	32,750	63,347	△30,597	
	会議費	11,598	15,700	△4,102	
	広報費	0	231,000	△231,000	
部の用	業務委託費	1,446,720	1,319,000	127,720	
	内部清掃委託料	159,720	43,200	116,520	
	警備業務委託料	660,000	654,000	6,000	
	税理士事務所報酬	385,000	382,000	3,000	
	社会保険労務士	242,000	239,800	2,200	
	手数料	434,052	414,013	20,039	
	銀行手数料	106,970	134,503	△27,533	
	産業廃棄物処理料	224,012	123,085	100,927	
	その他	103,070	156,425	△53,355	
	土地・建物賃借料	167,824	167,824	0	
	土地	167,824	167,824	0	
	租税公課	3,916	5,676	△1,760	
	内部取引	3,916	5,476	△1,560	
	その他	0	200	△200	
	保守料	74,471	76,464	△1,993	
	OA、ソフト	74,471	76,464	△1,993	
	雑費	162,200	170,200	△8,000	
	減価償却費	864,135	945,386	△81,251	
減価償却費	864,135	945,386	△81,251		
サービス活動費用計(2)	136,389,715	149,935,988	△13,546,273		

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

（自）令和 2年 4月 1日（至）令和 3年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△587,929	257,580	△845,509	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	826	1,939	△1,113
		受取利息配当金収益	826	1,939	△1,113
		受取利息	826	1,939	△1,113
		その他のサービス活動外収益	1,213,670	1,434,800	△221,130
	益	受入研修費収益	20,000	85,000	△65,000
		その他	20,000	85,000	△65,000
		利用者等外給食収益	1,169,920	1,349,800	△179,880
		雑収益	23,750	0	23,750
		雑収入(消費税対象外)	23,750	0	23,750
	サービス活動外収益計(4)		1,214,496	1,436,739	△222,243
	費用	その他のサービス活動外費用	1,169,920	1,349,800	△179,880
		利用者等外給食費	1,169,920	1,349,800	△179,880
		サービス活動外費用計(5)	1,169,920	1,349,800	△179,880
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		44,576	86,939	△42,363	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△543,353	344,519	△887,872	
特別増減の部	収益	その他の特別収益	1,014,458	0	1,014,458
		過年度修正額(収益)	1,014,458	0	1,014,458
		特別収益計(8)	1,014,458	0	1,014,458
	費用	拠点区分間繰入金費用	209,000	203,000	6,000
		拠点区分間繰入金費用	209,000	203,000	6,000
		本部へ繰入金費用	209,000	203,000	6,000
		その他の特別損失	6,000	0	6,000
		過年度修正額(損失)	6,000	0	6,000
		特別費用計(9)	215,000	203,000	12,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)		799,458	△203,000	1,002,458	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		256,105	141,519	114,586	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		19,965,656	19,824,137	141,519
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		20,221,761	19,965,656	256,105
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		20,221,761	19,965,656	256,105

